

15j 信頼されるSEに求められる問題解決スキル

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室 (住所: 〒850-0032 長崎市興善町4番6号)
・講師	富士通九州システムズ(FJQS): 井上龍也
・開催月日	2020年10月28日(水)・29日(木)・30日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

システム構築、またはシステム運用において問題解決スキルの向上を目指している方。

3. カリキュラムの概要

システム開発や運用保守のプロジェクトでは、さまざまなトラブルに対処していく必要があります。本コースでは、プロジェクトマネジメントの手法などをベースに、**問題の定義・分類、問題解決プロセス、問題の予防**といった項目を学習します。演習では、**失敗プロジェクトを基にしたケーススタディ**を行います。学習内容の定着化と困難な問題に取り組む姿勢を養うことにより、SEとして現場で必要とされる**問題解決スキルの向上**を図ります。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
10月28日	1. 問題とは何かを把握する	2.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・SEの現場における問題 ・SEの現場における問題解決の状況 ・問題とは ・本当の問題解決とは 【演習0】 問題に早く気が付くには何が必要か考察する (FJQSオリジナル問題)
	2-1. 問題を解決する	5.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセスの流れ ・問題解決のプロセス ・問題解決に使われる思考法 ・問題解決に使われるツール 【演習1】 問題の発見
10月29日	2-2. 問題を解決する	7.0hr	【演習2】 解決策の立案 <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発におけるフレームワーク 【演習3】 総合演習(システム開発編) <ul style="list-style-type: none"> ・システム運用におけるフレームワーク 【演習4】 総合演習(システム運用編)
10月30日	3. 問題を予防する	7.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・問題予防の重要性 ・問題予防のポイント ・予兆の監視と問題の予防 【演習5】 予兆管理(FJQSオリジナル演習)
	計	21.0hr	

5. 使用教材

信頼されるSEに求められる問題解決スキル(富士通ラーニングメディア)
FJQSオリジナル演習(問題0と問題5)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 問題とは何かを把握する。
2. 問題に早く気付く。(あるべき姿の可視化、実績・現状の可視化、プロジェクト・メンバの監視)
3. 問題解決のプロセスに基づき問題を解決する。
4. 問題を未然に防ぐ。

7. レベル

ITSS:コンサルタント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】
ITSS:プロジェクトマネジメント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】
ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】
ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】
ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】
ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]ネゴシエーション【レベル: 2 - 3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名